



さい帯血バンク NOW

第68号

1月15日発行
日本さい帯血バンクネットワーク
発行者：加藤俊一（会長）
〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-3 日本赤十字社ビル内
TEL 03-5777-2429 FAX 03-5777-2417 <http://www.j-cord.gr.jp/>

法律の施行に向け準備急ピッチ

昨年9月に国会で可決し公布された「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」は、1年6カ月後までという期限で施行されることになっていますが、厚生労働省では今秋の施行を目指しており、省令などの整備を進めるとしています。これを受け、日本さい帯血バンクネットワークを含めた関係団体などでは、急ピッチで新体制での課題の検討などに取っかかっています。

関係5団体会議

去る10月31日には厚生労働省で臓器移植対策室と日本さい帯血バンクネットワーク、骨髄移植推進財団、日本赤十字社、造血細胞移植学会による関係者が集まって協議を行いました。この席で今秋施行の方向性が示され、関係者相互の解決すべきテーマなどが示されました。

ネットワークで臨時総会

11月8日には日本さい帯血バンクネットワークの拡大役員会と各さい帯血バンク代表による会議が開催され、さい帯血バンクサイドの最初の協議の

場が持たれました。11月23日の事業運営委員会ではその報告と加藤会長がまとめた今後の検討テーマなどの説明が行われ、事業運営委員会を当面毎月開催していくことになりました。また、12月15日に臨時総会が開かれ、ネットワークの役員と各さい帯血バンクの代表による「法制化検討委員会」の設置が決定されました。検討委員会は今年5月くらいをめどに結論を出す予定になっています。

審議会も新体制で開催

また、12月28日には厚生科学審議会疾病対策部会造血幹細胞移植委員会が開催されました。委員長を含めた委員

たちの顔ぶれを一新しての委員会では、法律の施行に向けて「基本方針」を策定、公表するとしています。そのために、今年9月までほぼ毎月、11回の開催を既に予定しており、集中審議されることになりました。

第三者評価事業は終了

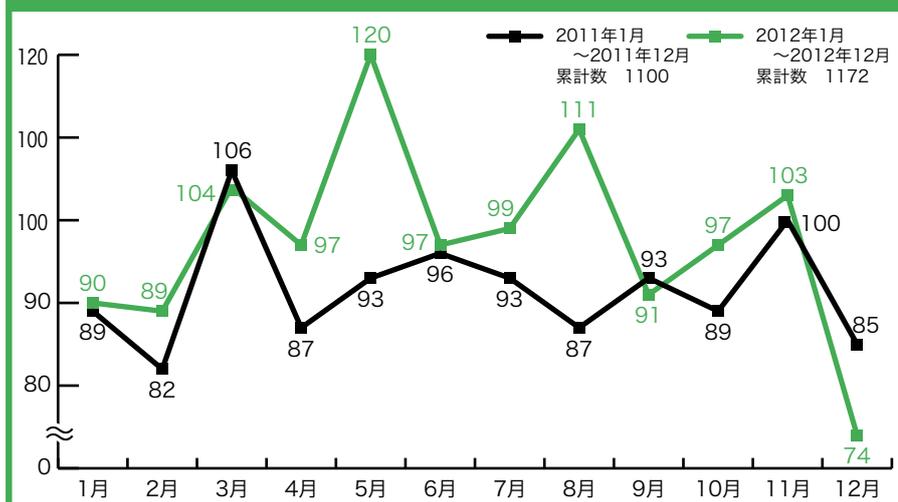
ところで、法整備によってこれまで行われてきた事業についてもすでに影響が出始めています。

日本さい帯血バンクネットワークでは、平成13年度から年度毎独自にテーマを決め、第三者である外部の評価機関に委託し、各さい帯血バンク事業の実施・運営状況に関して、客観的立場からの調査・検討を行い、運営体制に反映させてきました。しかしながら、今回の法制化により、各さい帯血バンクの運営は、国の許可制となり、厚生労働省令に基づき管理されていくこととなりました。これにより、次年度からは第三者評価事業は補助対象から外れ予算措置が講じられなくなります。日本さい帯血バンクネットワークで行っていた第三者評価事業は今年度でその役目を終了することとなりました。

各さい帯血バンクにおいては、第三者評価事業で調査・検討された項目を活かした事業体制を築かれることが期待されます。

非血縁間さい帯血移植状況(2013年1月1日現在の速報値)

移植数(累計) **9246** 公開数 **30063**



※複数さい帯血移植数を換算しています。



元気になりました

多発性骨髄腫をのりこえて 澤戸 晃

毎年人間ドックでZTTの値が年々上昇していた。足には湿疹ができて長年治らなかった。ある年思いきって血液の精密検査をした。そこで検査入院を、と言われたがそのまま放置していた。半年ほどして病院から電話があった。

「その後どうですか、どこかの病院に行きましたか。近々検査に来てください。まだお若いのに……」。まだお若いのにの言葉にただならぬ気配を感じた。結果は、血液専門医のいる病院を紹介するので至急行ってくださいとのこと。2007年10月、筋肉痛のような胸部痛を自覚していた。全身のレントゲン写真、血液検査、骨髄液検査。その結果、頭蓋骨融解、punched out (+)、BM plasma cell 47.2%、MMと診断。どんな病気なのか、どんな治療になるのか、よく分からぬうちの慌しい入院。その日から生活が一変した。そして抗がん剤治療が始まった。

多発性骨髄腫：Multiple Myeloma、原因不詳、20世紀の薬では治癒不能、平均生存年数3～4年、5年生存率30%、同種移植治療関連死20%。次々と襲ってくる副作用、吐き気、脱毛、高熱、下痢、便秘、味覚障害、視覚障害、食欲不振。死んだようにベッドに横たわる日々、ただ耐えるのみであった。2度の自家移植も再発、骨の痛みが激しく麻薬でも抑えきれなくなっていた。腫瘍がこぶのように現れていた。簡単に亀裂骨折を起こした。

“危険だ このままではいけない 早く手当てしろ”

本能の叫びが体の奥から聞こえてきた。同種移植を希望。エビデンスが得られておらずハイリスクと言われたが、他に道はなかった。自分の病気だから、最後は自分で責任を持とう。死んだら、亡くなった家族のもとに行ける。そう思ったら気が楽になった。あと半年もつかどうか、1年はとてもむりだろう、体がボロボロになっていくのが自分でもわかった。

主治医に頂いた紹介状持ってセカンドオピニオンを受けに行った。例えばこのまま2年生きられるとして、同種移植でそれが1年いや半年になったとしても後悔しない、やるだけのことはやりたい。それから10日後に転院、東京に行く朝、見送ってくれたのは犬だけだった。元気になって戻ってくるから一緒に山に行こうね。体が痛くて夜も眠れない状態だった。転院から1ヵ月後にさい帯血ミニ移植、そしてその2ヵ月後には退院していた。

紹介状を書いてくださった先生、移植してくださった転院先の先生、さい帯血を提供してくださった方、関係する皆さまにとっても感謝しています。このような皆様のおかげで今の自分があるからです。

ベッドから毎日空を見上げていた。栄養剤から初めて食事を口にしたとき、それがどんなに美味しかったことか。目に涙がにじんだ。生涯最高のご馳走

といっても過言ではなかった。移植後は順調で、桜の咲くころには退院できそうだとされていた。退院に備えて足慣らしにと、病院周辺を歩き始めた。近くの桜の名所も行ってみた。その年、満開の桜を見て感慨は格別だった。

外気を吸って、土の上を歩きたかった。退院する日、看護師1年目のプライマリーナースが手紙をくれた。

“澤戸さんへ☆ 退院本当におめでとうございます!! つらく大変なことが多い入院生活だったと思います。よくここまで乗り越えてきましたね。忍耐強い澤戸さんを尊敬しています。まだ治療が続くとのこと、不安があろうかと思いますが、自分の強さを信じて一步一步乗り越えていってくださいね、応援しています。本当にありがとうございました。KY”

彼女は実に献身的な看護をしてくれた、くじけそうになるたびに彼女からの手紙を読み返す。

髪の毛が3回抜けて3回生え変わった。血液型がB型からO型になった。性染色体が男から女になった。少し涙もろくなったような気もするが、髭は生えてくる。私はさい帯血移植で生きながらえたとと思っています。さい帯血を提供していただいた方にこの場をお借りしてお礼できれば、このうえない喜びです。愛犬と畑仕事もできるようになりました。



すこやかに、幸せに。
明日への夢、描きたい。

NIPRO

人から人へ、心から心へ、医療という名のヒューマンなコミュニケーションを広げたい。真の健康を守り、幸福な社会を築くために、優れた医療器具を広くおとどけしているニプロ。

私たちニプロはさい帯血を採取保存する技術でさい帯血バンクを応援致します。

NIPRO

ニプロ株式会社
大阪市北区本庄西3丁目9番3号



さい帯血バンク our staffs! うちのスタッフ

⑧九州さい帯血バンク

1995年7月、福岡県赤十字血液センターで培った細胞の調製保存技術を活かした臍帯血バンクプロジェクトが発足しました。徐々に組織、体制等を整え、2000年1月からは福岡県赤十字血液センター臍帯血バンクとして本格的に事業に取り組み、さらに2012年4月には、日本赤十字社の組織改編に伴い日本赤十字社九州さい帯血バンクと名称も新たに今日へと至っています。さい帯血の調製・保存、提供等は、これまで通り筑紫野市にある福岡県赤十字血液センター内で行っています。担当部署名は日本赤十字社九州ブロック血液センター製剤部製剤三課と長い名称になりましたが、スタッフは相変わらず4名の小所帯で、30km南の久留米市にある九州ブロック血液センターの検査、経理などの各部署と連携しながら、日々の業務を遂行しています。

清川博之（九州ブロック血液センター所長：さい帯血バンク代表）この少人数で良くやってきたと言うのが本音です。スタッフの熱い使命感と粘り強さ

が支えです。移植推進法公布後から、状況は急展開しております。中四国のさい帯血をお預かりした責任と、九州の役割を果たすべく頑張ります。

中村功（品質副部長：品質保証管理者）さい帯血バンクの品質部門責任者として、また、ネットワークの事業評価委員となり大変プレッシャーを感じています。各バンクにお邪魔する機会があると思うので、その時は宜しく願います。

赤嶺智子（さい帯血バンク事務、さい帯血受領）毎日、産婦人科へ行くと生まれたての赤ちゃんに会えるのが楽しみです。大切なさい帯血を安全運転で運ぶよう心がけます。

小森久代（主事：さい帯血バンク事務、調製・保存）バンク業務に携わって7年目になりました。少人数なりにごんまりと活動しています。

後藤信代（製剤係長：さい帯血バンク事務、調製・保存）今年研究一課より製剤三課に異動になりました。血液センターに32年勤務しておりましたが、製剤課は初めてです。衰えた目や頭が全てを拒絶しそうです。のろまな亀で頑張っていくのでよろしく願います。

森鉄男（製剤三課長：調製保存責任者）ネットワーク発足前の1999年1月にさい帯血バンク業務に従事するようになりはや13年となりました。月日の経つのは早いもので、多くの方のご指導・ご協力のもとに何とか仕事をさせていただいております。産科のス



調製保存事務スタッフ、左から
後藤、小森、赤嶺、森

タッフの皆様やさい帯血をご提供いただいたお母様方のご厚意、移植医療機関の先生方や患者様のご期待を感じながら、より品質のよいさい帯血の調製・保存に日々努めて参りました。その中で、仕事を通して多くの方と知り合いになり絆を深めたことが私の財産であり、心の支えとなっております。歳を重ねて、五十肩で着替えもままならず物忘れもひどくなったように思いますが、月100kmのジョギングをノルマとして体を鍛え、心も整えてこれからも精進し、少しでもさい帯血バンク事業にお役に立てればと考えるこの頃です。

スタッフの思いの一部を皆さんにお届けできたでしょうか。また、この17年間に当バンクに関わった佐藤博行さん（現長野県赤十字血液センター所長）、大山政則さん（現九州ブロック血液センター製剤二課長）を始め、諸先輩方の努力のおかげで今があると云っても過言ではないでしょう。

昨年3月には中国四国臍帯血バンクより保存さい帯血の移管を受け、9月には造血細胞移植法が国会で成立し、さい帯血バンク全体を取り巻く環境は大きく変わり始めています。私たちは、患者さん、さい帯血の提供を希望されるお母さま、移植医療機関、採取医療機関の皆さまのご期待・ご要望にまだまだ十分にお応えできておりません。現状では、スタッフが日々の業務に追われて余裕のない毎日ですが、今後、九州さい帯血バンクはハードもソフトもさらなる充実を図ってまいります。そのためにも多くの皆様のご指導・ご支援のほどよろしくお願い致します。

（最終回）

左から高附（副所長、入田（品質部長、森、清川、中村



元気になりました 移植患者さんの手記大募集

本誌『さい帯血バンクNOW』では、さい帯血移植を受けられて、元気になった移植患者さんの手記を連載しています。移植から1年程度以上経過して、健康を回復された患者さんは、体験やメッセージを書いてみませんか。原稿は2000字程度にまとめて、写真やイラストなどとともにお送りください。投稿は郵送でもメールでもかまいません。また、いただいた原稿は本誌に掲載するほか、さい帯血バンクの広報活動で使わせていただくことがあります。どうぞふるって手記をお寄せください。

〈送付先〉

〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-3日本赤十字社ビル内
日本さい帯血バンクネットワーク「さい帯血バンクNOW」編集部宛
network-jimukyoku@j-cord.gr.jp



移植病院 訪問

②京都大学病院

移植は内科と小児科が連携して

さい帯血移植を含む造血細胞移植の現場となる病院は、患者が成人の場合は血液内科が、小児の場合は小児科が取り組んでいます。血液内科と小児科を持つ大規模な総合病院でも、双方で移植を行っている病院は限られています。また、両科で移植を実施している、それぞれが独自の取り組みを行う病院がほとんどです。しかし、京都大学医学部附属病院では血液・腫瘍内科と小児科が定期的に合同カンファレンスなどを持って症例検討を行うなど連携を保ちながら造血細胞移植に臨んでいます。

内科は移植年30例

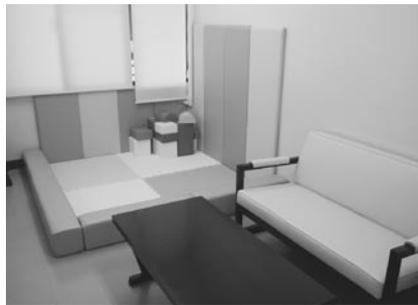
3年前に完成した積^{せまいてい}貞棟3階にある43床の血液・腫瘍内科病棟は全体がクラス1万で無菌管理され、そのうち13の個室で最近では年間30例ほどの同種造血細胞移植、うち10例ほどのさい帯血移植が行われています。1990年から始まった同種移植は累計でもまもなく500例になりますが、さい帯血移植は2003年から始まって現在まで70例ほどの実績になります。しかし、歴史的には小児科の方が古いのです。

小児科は移植実績30年

成人に比べて患者数では圧倒的に少ない小児領域ですが、小児科では30年前の1983年に移植が始まり累計で230例ほどになります。さい帯血移植は1999年から現在までに39例が行われ、最近では毎年数例を行っています。一方、骨髄バンクを介した骨髄移植は46例になるそうで、こうした移植は小児科病棟にある2室の無菌室で行われています。

家族のために病棟で

小児科での入院治療には母親の付き添いがどうしても必要になりますが、



お母さんが休むためのベッドも無料で用意しているとのこと。足立壯一教授は「理想は、St. Jude小児病院のように、家族が寝泊まりできる部屋が隣にあるのが一番いいんですが……」と語りますが、これまでウイルスなどの感染を避けるためにと一切拒否されていた兄弟姉妹の面会も面会室（写真上）を設けるなど、患児の闘病環境を整備することに力を注いでいるそうです。

内科と小児科でAYA世代を

医療の世界で小児とは15歳まで、15歳以上になると成人として内科の担当になります。そんな状況で「AYA世代」が注目されています。AYA世代とはAdolescent and Young Adult（思春期と若年成人）の略です。それまで小児科で治療を受けていた患者が、成人領域になって移植を受ける際などにも京大病院の内科と小児科の連携協力体制は効果をあげているようです。

チーム医療の取り組み

移植成績の向上には、内科や小児科の努力だけでは限界があります。精神科や心理療法士、作業療法士、理学療法士の協力があって移植患者の生活の質の向上が実現します。小児科には移

植後長期フォローアップ外来があり、昨年からは内科でも移植後フォローアップ外来が始まりました。また、移植コーディネーターも昨年からは増員して2名体制となり、内科と小児科に配置しています。京大病院ではチーム医療にも尽力しているとのことでした。

■善意のお気持ちに感謝します■

鹿児島県	(匿名希望)	100,000円
和歌山県	(匿名希望)	50,000円
福岡県	大塚隆英 様	30,000円
大阪府	福田博行 様	30,000円
愛知県	岡崎さくらライオンズクラブ 様	26,500円
埼玉県	大寺信行 様	12,000円
茨城県	(匿名希望)	10,000円
東京都	松本博・智子 様	10,000円
東京都	松本翔次郎 様	8,000円
静岡県	(匿名希望)	5,000円
	ノグチケンイチ 様	50,000円
	カタヤマヒデタカ 様	30,000円
	タナカマユミ 様	2,000円

〈寄付受け付け専用口座〉

●郵便局からの振り込み

00180-9-57390

●他の金融機関からの振り込み

金融機関名：ゆうちょ銀行

金融機関コード：9900

支店番号：019（銀行のATMから当ネットワークへ寄付金を送金する場合は支店名は『レイイチキュー』と入力してください。)

預金種目：当座

口座番号：0057390

口座名義：日本さい帯血バンクネットワーク